



日本のまんなか
水と緑といて湯の街渋川市

令和6年4月第5回市長定例記者会見

- ・日時 令和6年4月30日(火)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 長期滞在型移住体験施設（伊香保）の入居者がハンドメイドキャンドル等を販売する店舗を開店しました（資料1）
- 2 予約型バス（デマンドバス）の利便性向上のため乗降場所を計23箇所増設しました（資料2）
- 3 市民ワークショップ「しぶかわ未来共創カフェ」を開催します（資料3）
- 4 共生社会や女性活躍の推進等のまちづくりに資する講演会を渋川市内で開催する団体を支援します（資料4）
- 5 渋川駅前の新たな魅力やにぎわいを創出するイベントを行う団体を募集します（資料5）
- 6 5月の赤十字月間の活動として伊香保温泉石段街などの県内5箇所を赤い光でライトアップします（資料6）

その他資料提供

- ・能登半島地震で被害を受けた氷見市への支援金を氷見市へ贈りました（資料7）

○次回開催予定

日時：令和6年5月7日(火) 午後1時～
場所：市役所本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
4月30日(火)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	14:30	令和6年度スタートアップミーティング	市役所本庁舎	政策戦略課
5月1日(水)	9:00	令和6年度スタートアップミーティング	市役所本庁舎	政策戦略課
	18:00	第95回群馬県渋川地区メーカー集会	渋川駅前児童公園	産業政策課
5月2日(木)				
5月3日(金)				
5月4日(土)				
5月5日(日)	10:00	子持山学園子ども日の集い	子持山学園園庭	こども支援課
5月6日(月)				
5月7日(火)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室

長期滞在型移住体験施設（伊香保）の入居者が ハンドメイドキャンドル等を販売する店舗を開店しました

渋川市が市内伊香保地内に設置した「渋川市長期滞在型移住体験施設」の入居者が経営する店舗が、令和6年4月26日(金)に開店しました。

店舗では、自身が制作するキャンドルやアクセサリーの販売を行っています。また、今後はドリンク等の提供も行い、販売店舗及び簡易カフェの機能を付帯した店舗として運営していく予定です。

1 概 要

渋川市は、市内の空き家利活用推進と移住定住による人口減少対策を同時に推進するため、「渋川市長期滞在型移住体験施設」事業を実施しています。本事業は、令和3年度に信金中金が実施した「SCBふるさと応援団」事業の寄付金を活用し、北群馬信用金庫と連携して取り組んでいるものです。

体験施設は、渋川市が伊香保地内にある空き家を所有者から借り上げて、改修工事を実施し、利用希望者に転貸するものです。入居者は、令和6年4月1日から当該施設に入居し、地域活動などへの参加準備として地域の自治会への加入や周辺への挨拶回りを終え、令和6年4月26日(金)から自身の制作するキャンドルやアクセサリーの販売を目的とした店舗を開店しました。今後は、入居者のSNSや市のホームページを活用し、市と協働して渋川市での移住生活の魅力について情報発信を行います。

2 入居者の情報

- (1) 氏 名 萩原 奈々 (はぎわら なな) さん
- (2) 年 齢 26歳
- (3) 移 住 元 神奈川県横浜市
- (4) 入居予定期間 3年間
- (5) 経 歴 等

大学卒業後、大手民間事業者に入社。仕事の傍らキャンドル制作を進める。

退職後はブランドクリエイターとして東京都内や群馬県内で行われている各種マルシェ等に出展し、キャンドルのワークショップや自身で制作したキャンドルやアクセサリーの販売を行う。

3 施設内で開店した店舗の詳細

- (1) 店舗名称 ヒトゴト
- (2) 店舗所在地 渋川市伊香保町伊香保557-16
- (3) 営業時間 午前10時～午後7時
- (4) 定休日 月曜日、火曜日
- (5) 営業内容 ハンドメイドキャンドル、アクセサリーの販売及びキャンドル制作体験（キャンドル制作体験は要予約）

■問い合わせ先

市民環境部 部長 田中 良 (内線1100)

担当：市民協働推進課 (電話0279-22-2463)

課長 小野 宏仲 (内線4314)

移住定住支援係長 山田 のぞみ (内線2181)

資料2

予約型バス（デマンドバス）の利便性向上のため 乗降場所を計23箇所増設しました

渋川市は、小野上・子持地区及び北橘地区で運行している予約型バスの利用者の利便性を向上させるため、令和6年4月25日(木)から両地区で計23箇所の乗降場所を増設しました。

1 概要

渋川市は、小野上・子持地区及び北橘地区で予約型バス（デマンドバス）を運行しています。

予約型バス利用における利便性向上等を目的として、地域の要望を踏まえて乗降場所を増設するため、令和5年度に自治会長及び民生委員に要望調査を行いました。この調査で要望のあった場所のほか、生活に密着した場所などを中心に選定し、乗降場所を増設しました。

今回の増設により、小野上・子持地区の乗降場所は131箇所、北橘地区の乗降場所は60箇所となりました。

また、増設に合わせて、利用案内や乗降場所を掲載した乗降場所マップを更新しました。新たな乗降場所マップの作成に当たっては、運行区域外への乗換時刻表を掲載し、利便性の向上を図りました。

2 乗降場所の増設数

- (1) 小野上・子持地区：13箇所
- (2) 北橘地区：10箇所

3 増設日 令和6年4月25日(木)

4 マップの配布方法

- (1) 広報しぶかわ5月1日号と一緒に、小野上、子持及び北橘地区に毎戸配布
- (2) 公民館や行政センターなどの公共施設に設置

5 今後の予定

現在、今回増設した場所以外の候補場所を選定し、警察との協議を進めています。調整が整い次第乗降場所を増設する予定です。

また、今後も更なる利便性の向上に向けて、地域の要望等も踏まえながら順次増設を進めます。

参考

乗降場所増設箇所

1 小野上・子持地区（13箇所）

- ・子持総合運動場
- ・北牧公会堂
- ・東光農園
- ・とれいん学童クラブ
- ・関口鍼灸接骨院
- ・前和メガネ時計店
- ・ビューティーサロンキャンディ
- ・ドコモショップ渋川北店
- ・子持食品こんにゃく直売所
- ・上州・村の駅
- ・J A北群渋川北支店
- ・学童クラブぷらっとほーむ
- ・長坂住民センター

2 北橋地区（10箇所）

- ・谷津会館
- ・北橋運動場野球場
- ・ねむの丘
- ・ぐんまみらい信用組合
- ・北橋公民館
- ・ギフトショップイノ
- ・ママダ美容室
- ・桂昌寺
- ・聖酒造
- ・小児医療センター

■問い合わせ先

建設交通部 部長 柴崎 憲一（内線4700）

担当：交通政策課（電話0279-22-2264）

課長 柴田 宏（内線4781）

新公共交通係長 林 明美（内線4797）

市民ワークショップ「しぶかわ未来共創カフェ」を開催します

渋川市が今年度策定する「渋川市デジタル田園都市構想総合戦略」に、市民の意見を反映させるため、「渋川市のありたい姿」や「10年後の理想の渋川市」などをテーマにワークショップを行います。

一定時間でグループを入れ替えて行う「ワールドカフェ」の形式で行うため、名称を「しぶかわ未来共創カフェ」としました。

1 目 的

渋川市は、現在、「第2期渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂版として、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に基づき、デジタル技術を活用して地方創生を加速させることを目指す「渋川市デジタル田園都市構想総合戦略」の策定を進めています。

新たな総合戦略の策定に当たり、これからの渋川のまちづくりについて、市民と共に考え、共に創っていくことを目的に、市民ワークショップ「しぶかわ未来共創カフェ」を開催します。

なお、今後のまちづくりについて、市職員も市民と共に考えるきっかけとするため、各部局から若手職員がワークショップに参加します。

2 とき・ところ

- (1) 令和6年6月11日(火)午後7時30分～9時30分・オンライン開催
- (2) 令和6年6月15日(土)午前9時30分～11時30分・渋川市役所本庁舎大会議室

3 対 象 渋川市内に在住または在勤・在学する18歳以上の人

4 定 員 各回20人（定員超過の場合は抽選とします）

5 申込方法

- ①市ホームページ（右の2次元コードからアクセスできます）の応募フォームから申込み
- ②市ホームページに掲載または別紙チラシ裏面の申込書をメール（hp-seisaku@city.shibukawa.gunma.jp）またはFAX（0279-24-6541）で政策戦略課へ
- ③電話（0279-25-8554）で政策戦略課へ



6 申込期間 令和6年5月7日(火)～5月31日(金)

7 その他

① 6月15日（土）は、市役所内で無料の託児サービスを行います

※市が委託する保育士がお子さんを預かります

② 6月11日（火）、15日（土）のほか、8月に学校や関係団体等に所属する人とのワークショップを、9月以降に子育て関連施設などでのオープンハウス形式による意見把握を予定しています

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8554）

課長 小野 篤史（内線2420）

政策推進係長 坂本 和馬（内線2422）

参加者
募集!

5/31(金)×切

みんなで

10年後の渋川市を考えるワークショップ

「しぶかわ未来共創カフェ」



①オンライン 6/11(火) 19:30~21:30 (Zoom等)

②集合開催 6/15(土) 9:30~11:30 (市役所本庁舎)

■対象 市内に在住または在勤・在学で18歳以上の人

■定員 各回20人 (定員超過の場合は抽選)

■申込方法

- ①右下の2次元コードから市ホームページ内の応募フォームで申し込み
- ②裏面の申込書をFAXまたはメールで送付
- ③政策戦略課へ電話で申し込み

「しぶかわ未来共創カフェ」とは?

「渋川市のありたい姿」や「10年後の理想の渋川市」などをテーマに意見交換を行うワークショップです。一定時間でグループを入れ替える「ワールドカフェ」という手法で行うことから、この名称としました。いただいた意見は、本市の総合戦略(※)の改訂にいかします。

※総合戦略：地域の人口減少を食い止め、まちの活性化を図ることを目的に策定する計画です

お問い合わせ先

渋川市 総合戦略部 政策戦略課 政策推進係

市ホームページはこちら▶

TEL : 0279-25-8554 / FAX : 0279-24-6541 / Email : hp-seisaku@city.shibukawa.gunma.jp



渋川市民ワークショップ「しぶかわ未来共創カフェ」

参加申込書

ふりがな				年 齢	性 別 (任 意)
氏 名					
住 所	〒 -				
電話番号	- -				
メール アドレス	@				
参加希望 日程に○	6月11日（火）午後7時30分～午後9時30分 オンライン（Zoom等）開催				
	6月15日（土）午前9時30分～午前11時30分 集合開催（市役所本庁舎大会議室）				
託児サービス 利用希望	※6月15日（土）のみ				
【渋川市在住ではなく、渋川市在勤・在学に該当する方は、以下もご記入ください。】					
所 属	(企業または学校名)				

※1 参加申込書にご記入いただきました情報は、ワークショップに関する業務以外に使用しません。個人情報の管理は厳重に行い、第三者に開示・漏洩することはありません。

※2 活動中に撮影された写真等を、本市の広告媒体（広報紙やHP、SNSなど）に使用する場合がございます。お申込みいただいた時点で、同意いただいたものとしますのでご了承ください。

※3 託児サービスは無料をご利用いただけます。当日、会場付近の部屋に託児室を設置し、市が委託した保育士がお子さんを預かります。

【申込み・問い合わせ先】

〒377-8501

渋川市石原80番地 渋川市役所本庁舎2階

総合戦略部政策戦略課政策推進係

Tel : 0279-25-8554 Fax : 0279-24-6541

資料4

共生社会や女性活躍の推進等のまちづくりに資する講演会を 渋川市内で開催する団体を支援します

渋川市の課題解決及び魅力向上を目的として、共生社会や女性活躍の推進などのまちづくりに関する講演会等を、市内で開催する団体に補助金を交付します。

1 目 的

人口減少や少子高齢化など、渋川市を取り巻く様々な社会情勢を共有しながら、伊香保温泉をはじめとした豊富な観光資源、充実した子育て施策、色濃く残された各時代の歴史・文化といった多くの強みを生かした、持続可能なまちづくりを進めるため、「共生社会推進」「女性活躍」「子育て」「防災」など、まちづくりに資する講演会等を市内で開催する団体を募集するものです。

2 補助金の名称 しぶかわ未来共創推進事業補助金

3 補助対象事業

まちづくりに資する講演会等で、市内で開催するもの

例) 共生社会推進、女性活躍、少子化及び人口減少対策、産官学金労の連携、デジタルトランスフォーメーション、防災、移住・定住、子育て、地域産業の振興等に関するもの

ただし、「参加者を特定の要件で限定するもの」、「定員が50人未満のもの」、「会費及び入場料等を参加者から徴収するもの」等は除く

4 補助金額

限度額50万円以内で、補助対象事業の内容、性格等を勘案し、予算の範囲内で市長が定める額とします。(補助率は10分の10)

5 補助対象者

補助対象事業を実施する団体(法人格の有無を問わず、学生や市民等で構成された団体、グループ等を含む)で、「構成員が3人以上」であり、「構成員の半数以上が渋川市住民である」等の条件に該当する者とする。

6 補助対象経費

補助対象事業に要する経費。ただし、次に掲げる経費を除く。

ア 交際費(慶弔費を含む)

イ 関係者の飲食に要する経費

ウ 備品購入費

エ 証拠書類により補助対象者が支払ったことを確認することができない経費

オ その他補助対象事業に要する経費として市長が不適当と認めた経費

7 申請方法

渋川市ホームページ等を確認の上、補助金交付申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、電子メール又は書面で政策戦略課へ

8 予算額 150万円（限度額50万円×3件分）

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

共生社会や女性活躍の推進等、まちづくりに関する講演会を市内で開催する団体を支援します！



共生社会実現のまち
渋川市



しぶかわ未来共創推進事業補助金

<p>補助金額</p>	<p>限度額 50万円 (補助率 10/10)</p> <p>※事業の内容や性格等を勘案し、予算の範囲内で補助額を定めます。 ※交際費、関係者の飲食に要する経費、備品購入費、確認のできない経費は対象外です。</p>
<p>補助対象事業</p>	<p>まちづくりに資する講演会等で、市内で開催するもの。 例) 共生社会推進、女性活躍、少子化及び人口減少対策、産官学金労の連携、デジタルトランスフォーメーション、防災、移住・定住、子育て、地域産業の振興等 に関するもの。 ※ただし、「参加者を特定の要件で限定するもの」、「定員が50人未満のもの」、「会費及び入場料等を参加者から徴収するもの」等は除く。</p>
<p>補助対象者</p>	<p>①学生や市民等で構成された団体・グループで、 ②構成員が3人以上であり、 ③構成員の半数以上が渋川市民であること 等</p>
<p>申請方法</p>	<p>要綱や要領等を確認の上、補助金交付申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、電子メール又は書面にて政策戦略課へ</p>

【お問合せ】 総合戦略部 政策戦略課 電話番号 0279-25-8419

メールアドレス mirai@city.shibukawa.gunma.jp

要綱等はコチラから→



渋川駅前の新たな魅力やにぎわいを創出するイベントを行う団体を募集します

渋川市は、令和6年度の新規事業として、渋川駅前の活性化及び魅力向上を目的に、駅前の新たな魅力やにぎわいを創出するための各種イベントを試験的に行い、その事業効果を検証する団体に補助金を交付します。

1 目 的

渋川市は、令和3年11月に「渋川駅周辺地域再生構想」を策定し、「まとまりとにぎわいが一体となった“ほっと”な渋川駅前」を目指して、イベントなどに活用できる自由広場を整備するとともに、雨天時に活用できるシェルターの設置などを進めています。

こうしたハード面での整備とともに、渋川駅を鉄道利用者だけでなく、多くの人が集まり、にぎわう場所にするため、渋川駅前広場で試験的にイベントなどを行い、事業効果を検証することを条件に、渋川駅前の新たな魅力やにぎわいを創出するイベントを行う団体を募集するものです。

2 補助金の名称 渋川駅前広場利活用モデル創出事業補助金

3 補助対象事業

計画時において、多数の集客が見込まれるイベントであって、渋川駅前の新たな魅力やにぎわいを創出するとともに、その事業効果の検証を行うもの。

ただし、「参加者を特定の要件で限定するもの」等は除く。

4 補助金額 限度額30万円（補助率は10分の10）

5 補助対象者

補助対象事業を実施する団体（法人格の有無を問わず、学生や市民等で構成された団体、グループ等を含む）であり、「構成員が3人以上である」等の条件に該当する者となります。

6 補助対象経費

補助対象事業に要する経費。ただし、次に掲げる経費を除く。

ア 交際費（慶弔費を含む）

イ 団体の構成員の飲食に要する経費

ウ 備品購入費

エ 証拠書類により補助対象者が支払ったことを確認することができない経費

オ その他補助対象事業に要する経費として市長が不相当と認めた経費

7 応募方法

(1) 募集要項を確認の上、応募申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、電子メール又は書面で政策戦略課へ

(2) 提出期間

ア 第1期（令和6年6月～8月開催分）

＝令和6年5月1日(水)～5月24日(金)午後5時必着

イ 第2期（令和6年9月～12月開催分）

＝令和6年7月1日(月)～8月20日(火)午後5時必着

ウ 第3期（令和7年1月～3月開催分）

＝令和6年11月1日(金)～12月20日(金)午後5時必着

8 選定方法

庁内に設置する選定委員会で、提出された事業計画書等の審査を行い、実施候補団体を選定します。

9 予算額 240万円（限度額30万円×8件分）

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

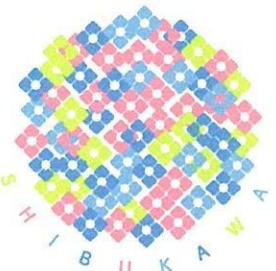
担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

渋川駅前がにぎやかに!

渋川駅前広場利活用モデル創出事業補助金



共生社会実現のまち
渋川市

<p>事業の目的</p>	<p>駅前の活性化及び魅力向上を目的として、新たな魅力やにぎわいを創出するための各種イベントを試験的に行い、その事業効果の検証を行う実施団体を募集・支援します。</p>
<p>補助金額</p>	<p>限度額 30万円 (補助率 10/10) ※交際費、団体の構成員の飲食に要する経費、備品購入費、確認のできない経費は対象外です。</p>
<p>補助対象事業</p>	<p>計画時において、多数の集客が見込まれるイベントであって、渋川駅前の新たな魅力やにぎわいを創出するとともに、その事業効果の検証を行うもの。 ※ただし、「参加者を特定の要件で限定するもの」等は除く。</p>
<p>補助対象者</p>	<p>構成員が3人以上の、学生や市民等で構成された団体等</p>
<p>申請方法</p>	<p>審査があります。 募集要項等を確認の上、応募申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、電子メール又は書面にて政策戦略課へ</p>
<p>提出期間</p>	<p>【第1期】R6.6～ 8月開催分=R6. 5.1～ 5.24 PM5:00必着 【第2期】R6.9～12月開催分=R6. 7.1～ 8.20 PM5:00必着 【第3期】R7.1～ 3月開催分=R6.11.1～12.20 PM5:00必着</p>

【お問合せ】 総合戦略部 政策戦略課 電話番号 0279-25-8419
 メールアドレス mirai@city.shibukawa.gunma.jp

募集要項等はコチラ→



資料6

5月の赤十字運動月間の活動として伊香保温泉石段街などの 県内5箇所を赤い光でライトアップします

日本赤十字社群馬県支部は、5月の赤十字運動月間の活動として、「人のいのちと健康を守る」という赤十字の理念を広く伝えるため、5月2日(木)の伊香保温泉石段街を皮切りに、県内5箇所でレッドライトアップを実施します。

渋川市内でのレッドライトアップは、今回が初の実施になります。

1 目 的

日本赤十字社は、5月1日が創立記念日、5月8日が世界赤十字デー（赤十字の創始者であるアンリー・デュナンの生誕日）であることから、5月を「赤十字運動月間」として、多くの人たちに赤十字の理念や活動の普及と理解を呼び掛けます。

レッドライトアップは、赤十字運動月間の活動の一つとして実施し、歴史的建造物やランドマーク的建物などを赤十字のシンボルカラーである赤い光でライトアップすることで、「人のいのちと健康を守る」という赤十字の理念を広く周知するとともに、赤十字の活動への理解を深めるきっかけとなることを目的としています。

2 実施日時・場所

(1) 日 時 令和6年5月2日(木) 午後6時30分～7時30分

(2) 場 所 伊香保温泉石段街だんだん広場

(3) 県内実施

ア 令和6年5月4日(土)～10日(金) 群馬県庁昭和庁舎（前橋市）

イ 令和6年5月6日(月)～8日(水) 臨江閣（前橋市）

ウ 令和6年5月7日(火) 草津温泉湯畑（草津町）

エ 令和6年5月7日(火)～9日(木) 富岡製糸場（富岡市）

3 主 催 日本赤十字社群馬県支部（組織振興課：027-254-3636）

■問い合わせ先

福祉部 部長 生方 清三郎（内線1200）

担当：地域包括ケア課（電話0279-22-2250）

課長 後藤 景太（内線1210）

管理係長 福島 敬（内線1226）

レッドライト アップを観に 行こう

「人のいのちと健康を守る」
赤十字の理念を広く伝えるため、
県内5か所をライトアップします。

- ①伊香保温泉石段街 (渋川市伊香保町伊香保76-5)
5月2日(木) 18:30~19:30
- ②群馬県庁昭和庁舎 (前橋市大手町1丁目1-1)
5月4日(土)~10日(金) 日没後~22:00
- ③臨江閣 (前橋市大手町3丁目15-3)
5月6日(月)~8日(水) 18:30~23:00
※敷地内へは入れませんのでご了承ください。
- ④草津温泉湯畑 (吾妻郡草津町草津)
5月7日(火) 18:30~18:45/19:15~19:30
- ⑤富岡製糸場 (富岡市富岡1-1)
5月7日(火)~9日(木) 19:00~21:00
※敷地内へは入れませんのでご了承ください。

▲富岡製糸場のライトアップの様子

資料7

能登半島地震で被害を受けた氷見市への支援金を 氷見市へ贈りました

渋川市は、令和6年能登半島地震において被害を受けた氷見市への支援活動として、募金活動を行いました。

この度、市民や団体の皆様の協力により集まった支援金94万3,000円を、氷見市へ贈りました。

1 概要

渋川市は、長年に渡って交流のある富山県氷見市が、令和6年能登半島地震により被害を受けたことから、氷見市への支援活動の一環として、令和6年1月4日から3月29日まで募金活動を行いました。

この度、来庁した市民や各団体の皆様の協力により集まった支援金を、氷見市へ贈りました。

2 支援金額 94万3,000円

3 ご支援いただいた団体（五十音順）

軽浜自治会、渋川市議会、渋川市武道振興会、渋川市役所部課長会、しづかわ商工会、渋川測量設計協会、針塚農産

4 その他

4月23日(火)に富山県砺波市で開催された「2024となみチューリップフェア」の会場で、来賓として出席した氷見市の林市長と渋川市の伊勢副市長が対談する機会を設けて、副市長から氷見市長へ直接目録を渡しました。



■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）